

私がしてきたヘアードネーション

旭丘小学校 5年
早川 瑠

私は年中の時からかみの毛をのぼしてきました。それは、「ヘアードネーション」をするためです。年中の私は、意味も分からずにかみの毛をのぼしていたため、頭をあらう時はいつもイライラしていました。お母さんから、「ヘアードネーションは、病気がかみがぬけちゃった子がするかつらだよ」と言っていたので、私は年中の時からずっとその病気の子は「ハゲている」そう思っていました。

テレビ番組中、一人の人がかみの毛がまだらな人がいました。一部長かったり、一部短かったりしていたので私はお母さんに「どうしてあの人かみの毛がまだらなの？」と聞いてみました。その答えは、「白血病かだつ毛しょうなどの病気じゃない？」と言われて「ヘアードネーションを必要としている人」なんだとお母さんは、教えてくれました。

私は、自分の寄ふしたかみの毛がコマーシャルでやっている「大人のカツラ」などに使われているとかんちがいをしていて、3回目のヘアードネーションをするのがいやになったのです。けれど、テレビでの病気のあの人を見て、「また、ヘアードネーションをしたい」と思ったのです。病気がかみの毛がぬけて、「はずかしい」などの思いで学校に行くのではなく、かつらをかぶって楽しく学校に行ってほしいと私は思い、ヘアードネーションをつづけたいと思いました。

ある日私は、新聞の記事で、「男の子がかみの毛をのぼして、白血病がかみの毛がない弟に、ヘアードネーションをした。」と書かれていたのを読みました。たぶん男の子は、「自分はいやな事を言われても、弟には楽しく学校に行かせたい。」とそう思ったんだなと私は考えました。

私がかみの毛が長いと、友達から、「すごい長いね。」やかみの毛をいじられたりして、とてもいやでした。たぶん友達は、いや味を

言っているわけではないんだけど、私にはどうしてもいや味にしか聞こえてこなかったの、なかなかそれに対する返事できなくてイライラしていました。

このようにいろいろな思いが自分自身にあったけど、ヘアードネーションをこれからもつづけたいと思います。かみの毛がない病気の子達に私のかみ毛が使われ、みんなが笑顔になってほしいです。ヘアードネーションのためにそして「男の人でもかみの毛をのぼしても、変でもおかしくもないんです。」っていう事を知ってほしいと思います。

ヘアードネーションする人は、私もですが自分のかみの毛を大切に長く育てて、良いかみの毛であるようにし、カツラになった時には、使う人によるこんでもらいたいと思っているからです。